



札幌市立陵陽中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

朝読書に学級図書貸出を活用

月1回、各クラス20冊程度の学級貸出は、図書局員が選んでいます。図書館に行かなくても、教室内で図書資料に触れることができます。時にはリクエストを受けて本を選ぶ局員もいました。また、シリーズの続きが読みたくなり初めて来館した、という生徒もいました。

図書局イベント「どきどき 🍷 あみだくじ」

10月20日から10月31日の2週にわたって、図書館イベントを実施しました。内容は、利用者が期間中に本を借りると、あみだくじに挑戦でき、当たれば図書局員お手製の栞が手に入るというものです。周知ポスターや、当日クラスへの呼びかけを行ったこともあり、来館者は多く、図書局員たちも準備から精力的に活動していました。



学習センターとしての機能

相互貸借で他校と連携

他中学校から問い合わせがあり、「進路調べ」授業支援のため「新13歳からのハローワーク」村上龍/著、を複数冊貸し出しました。寄託図書にある本ですが、数が足りない場合は他校と連携し人数分揃えることができます。

1年校外学習の事前調べ

今年度は札幌市の魅力を「建造物」「文化」「歴史」「自然」「産業」の5つの観点から探究しました。事前調べ学習の際に「まち歩き札幌の歴史」赤谷正樹/著を1班に1冊ずつ配布し、実際に赴く予定の研修先を調べるために活用しました。詳細を知った後に研修先を訪れると、その場所の背景や見どころを事前に学習していたことで、生徒たち一人ひとりが深い気づきを得られた校外学習となりました。



情報センターとしての機能

Chromebook や自宅の端末から図書検索

図書の検索がクラスルームからできます。開館は昼休みの20分間に限られているため、chromebook や自宅の端末から本選びができるのはとても便利、と生徒からの感想がありました。

Google フォームを使って図書購入リクエスト

図書館に置きたい本のリクエストを常時募集しています。リクエスト用紙について知らない生徒が多く、今年度からフォームで申請できることを開館カレンダーに併記し、学級掲示しています。

まなbellと蔵書検索リストからクイズを出題

ネットやSNSの情報を、受け手側がどのように検証すればよいのか、を図書館から発信する手立てとして「図書館クイズ」を企画しました。校閲を経た書籍や新聞から根拠となる記述を検索することを楽しく体験できます。クラスルームからフォームで参加します。

